

## ドナルド W フラッド／米国人の元キリスト教徒 (1/4)

:

明:

「ルレットの推」が、いかにこの元ラスベガス市民をムスリムにしたか。第一部: 「人生パズルの目的」の断片を集めること。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: ドナルド W フラッド

日 30 Sep 2013

集日 30 Sep 2013



私はかつて、自分の育ちは良 なる人生を提供しているのだと思っていました。私は肉体的にも精神的にも 足していたからです。私は青年として、快 主 的な面はあったものの、一般的な米国人の人生を んできました。私は音 やパ ティ、女性、スポ ツ、旅行、外国の食べ物や言 が好きでした。しかしながら、ある 私は「精神的破 」を感じるポイントに到 し、自らにこう い しました。「これから、どうするつもりなのだ? 」そしてこう思ったのです。「人生には、こんな生活よりも良いことがきっとあるはずだ。」この は、私が多岐に渡る分野から真 の探索を 始する原 力となったのです。

私は自分が精神的に たされたい思いを抱いていたのは、 的な行 式と、性急に 足感を得ようとする米国のライフスタイルに原因があるのだと 定しました。それゆえ、より良

い地理的 境に答えがあるのかも知れないと考え、完璧な 土を探し始めました。 々な 所に旅してみると、私は自分が探していたのは完璧な 土ではなく、最も最 な形で人生へのアプロ チを みる特定の文化であることを しました。そして私が最も魅力的な文化だとなしていたものにも、欠点があることに 付きました。その 、私は人々の生活 式について学び、そこから最善のものを ぶべきだと推 しました。これがおそらく、私が真理を求める旅を始めるきっかけとなったものでした。

世界市民としての人生を 践することの出来なかった私は、秘教的な物事に惹かれていたせいもあって、形而上学の 物を み始めることにしました。私はすぐに、すべての物事は、自らの利益として用いることの出来る普遍的な法に って作用していることを学びました。この分野の多くの 物を んだ私は、それらの法よりも重要なのは、それらを行った者、すなわち神であるという に しました。また、形而上学は脆い道であることに付き、その分野におけるそれ以上の追求を止めました。

しい友人の提案で、私たちは人生の目的を するという意 で、米国全土とカナダ西部の3ヶ月 のキャンプ旅行に出ました。私たちは大自然の を目 し、この世界は偶然によって生まれたのではなく、 造主の存在を暗示するしるしに ちたものであることを 信しました。それゆえ、この旅は私の神への信仰を 固たるものとししました。

家に ると、慌ただしい都市生活に嫌 が差したため、そこからの解放を求めて瞑想をするようになりました。瞑想テクニックによって内的な平安を つける事は出来ましたが、そうした安 の 持ちは一 的なものでした。ひとたび立ち上がれば、その感 を持ち くことは出来なかったのです。同 に、瞑想を定期的に けることには困 を 出したため、それに しては徐々に 味を失っていきました。

私はやがて、真 とは自己修 に潜んでいるのではないかと考えだしました。それゆえ 蒙 を みり、 する 座に出席したりもしました。さらに、米国 のテレビコマ シャルのスロ ガンである「Be all you can be (なれるもの全てになろう)」に触 され、スカイダイビングや格 技などに挑 しました。 やチャレンジ精神によって、私は自信を持つようにはなりましたが、 にはまだ真

をつけ出してはいませんでした。

しばらくすると、 々な哲学 を むようになりました。そこからは多くの 味深い概念や 践法を 出しはしましたが、私が完全に合意出来るような特定の哲学を することは出来ませんでした。それゆえ、私はそれらの教理から最善と思われるものを 合しました。それは、 理的 度の重要性を した、ある の「り好み宗教」でした。しかし、良き 理そのものの良さは める一方、それは人生のより精神的なアプロ チである「人生というパズルの目的」の解明には不十分であるという に至りました。

その すぐ、私はムスリムの国で仕事をつ つけ、有り余った で したり、人生について考えたりしていました。真 の探求を けるかたわら、神への悔悟を めるく だりがある本の中で つけました。私はそれを 践するようになると、人生の中で いことをしてしまった人々に する自 の念を感じて、 から がこぼれ落ちる程でした。

数日 、私は何人かのムスリムの友人たちと会 の を持ちました。私は彼らの国よりも、米国に居たときの方がより多くの自由があったことに言及しました。すると彼らの一人が言いました。「それは、君が何を『自由』だと言っているかによって わってくるよ。君が住んでいる世界では、家庭で がいかに子供に 理を教えても、一 外に出るとその理とは矛盾するものをつ けることが出来る。一方で、大半のムスリムコミュニティでは、家庭で教えられている 理と社会で 出すことの出来るものは非常に似通ったものだ。だから、本当に自由があるのはどちらなんだろうね？」彼によるこうした 推から、私はイスラ ム的指 や 制とは、人の行 をがんじがらめにし、自由を抑 することを目的とされたのではなく、人 の自由を定 し、それに尊 を与えるものなのではないかと推 したのです。

ムスリムの友人たちから夕食に招待されたとき、イスラ ムについてさらに知る 会がありました。私が中 に来る前、ラスベガスに住んでいたことを彼らに言うと、米国出身のムスリムがこう言いました。「君は良きムスリムとして人生を えられるよう、努力しなければならない。」私は直ちに、それが何を意味するのか彼に ねました。彼はこう言いました。「君が非ムスリムとして死ぬのなら、それは君が手持ちの全てのチッ

プをたった一つの番号に け、あわよくば 判の日、神がそのご慈悲から君を天国に入れてもらえるよう期待する、ル レットのようなものだ。反 に、君が良きムスリムとして死ぬのなら、それはル レット のすべての番号にチップを けることであり、球がどの番号で止まろうが君は安心していられる。言い えば、良きムスリムとして生き死にすることは、地 に落ちないための最善の保 であると同 に、天国に入るための最善の投 なんだよ。」私は元ラスベガス市民として、この 烈な例えを直ちに理解することが出来ました。

この 点で、私は神がその 言者や 使徒に下した 示についての 宗教に集中してみない限り、真 を 出すことは出来ないだろうと考えるようになりました。それゆえ、私はキリスト教とイスラ ムを通した真 探求を敢行することに めたのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1871>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。